

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-	
		スーパー（店長）	・売上が2か月連続で伸びており、競合店の話でも、売上が下げが止まったと聞く。	
		一般レストラン（スタッフ）	・3月以降、前年を超える売上が続いており今後も期待できる。	
		観光型ホテル（経営者）	・7月、8月の予約が前年をやや上回っており、入り込み客の増加が期待できる。	
		観光型ホテル（スタッフ）	・サッカーワールドカップやYOSAKOIソーラン祭が終了し、観光シーズンに向けてゆっくり旅行しようとする機運がみられる。	
		通信会社（企画担当）	・今後3か月の間に、新商品が次々に投入されるので、消費が喚起されると期待している。	
	変わらない	美容室（経営者）	・3か月連続で前年実績を上回る売上の好調さに加え、客との会話で最近「景気が悪いね」という言葉があまり聞かれなくなった。	
		スーパー（店長）	・ボーナスの支給額が減少し、消費者の購買が益々引き締められる。	
		スーパー（企画担当）	・競合店との厳しい価格競争が続いており、また、販売点数も回復力に欠ける。	
		衣料品専門店（店員）	・サッカーワールドカップが終了し、客が落ち着いた買物をするようになり、来客数がやや増加し、婦人服の売上が増加すると見込まれるが、紳士服の落ち込みが著しい状況であり、全体的にみると売上が伸びる見通しを立てられない。	
		住関連専門店（営業担当）	・商品単価が低下しても、売上を確保できるほどの来客数の増加が期待できない。	
		高級レストラン（スタッフ）	・札幌市外や道外からの客に早め予約が増加し、個室利用も時々予算額が大きい案件が入っているが、全体的にみると大きな変化とはいえない。	
		スナック（経営者）	・来客数の動きに変化がない。	
		旅行代理店（従業員）	・高額な旅行需要の減退が続いている。	
		タクシー運転手	・規制緩和に伴い、新規参入や車両数の増加が見込まれ、競争が益々厳しくなり、利用客の増加を期待できない。	
		美容室（経営者）	・衝動的にサービスを注文したり、店販品を購入するような動きがみられない。	
		やや悪くなる	一般小売店〔土産〕（店員）	・購入単価の低下傾向や来客数が低迷している状況からみて、夏期の本格的な観光シーズンが到来しても、昨年程の期待ができない。
			百貨店（売場主任）	・来客数が減少する中で、高額品の動きが非常に鈍くなっている。
			スーパー（店長）	・6月の来客数の減少は、サッカーワールドカップの影響による一過性の要因と判断しているが、一品単価が下げ止まっておらず、今後、来客数が増加しても売上の確保が困難になる。
			コンビニ（エリア担当）	・週末の売上を確保できない現状からみて、夏期の行楽シーズンが到来しても例年のような売上の増加を期待できない。
衣料品専門店（店長）	・明るい見通しがある客が少なく、いつ失業するかわからないという客も多い。			
設計事務所（所長）	・公共工事の動きが活発になってきたが、これは時期がずれただけであり、重なった仕事をこなすことが出来ず下請けに回す分、売上が減少する。			
住宅販売会社（従業員）	・土地価格の値下がり傾向が続いており、来客数の増加が見込めない。			
悪くなる	コンビニ（エリア担当）	・天候不順が予想されており、来客数の減少が見込まれる。		
	スナック（経営者）	・業者の指名停止や国家公務員の倫理法なり、観光客の目減りなりが異常に響いている。		
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-	
		通信業（営業担当）	・新規案件、問い合わせ件数がともに増加傾向であり、新たな試みを検討する客の動きもある。	
		通信業（営業担当）	・2か月続いて受注状況が上向いており、今後も同様に推移すると見込まれる。	
		その他サービス業〔システムハウス〕（経営者）	・大型案件が立ち上がる可能性が高い。また、そのような話が複数ある。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他企業〔コンベンション担当〕（従業員）	・売上が前年並みに回復する動きがみられ始めている。
	変わらない	家具製造業（経営者）	・東京地域への販売では高級品の一部に回復がみられるが、関西以西は依然として悪い状況である。
		金属製品製造業（統括）	・主要取引先である住宅業界で、着工数が前年を大きく下回る状況が続いている。また、大型建築工事の分野も低迷している。
		輸送業（支店長）	・道内主要貨物に好転する材料がなく、建材等輸入物資も在庫調整局面にある。また、公共投資関連の発注が出遅れている。
		金融業（企画担当）	・道内産業に大きなウエイトを占める建設業界で、公共事業の秋枯れを懸念する声強い。
	やや悪くなる	その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・公共工事関連が減少する中で、それをカバーするためのビジネス展開の動きが少なく、取引先のマインドも冷えている。
	悪くなる		
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・周囲の企業で合併、吸収、倒産、経営不振の話をよく聞く。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・求人数の減少が止まった感はあるが、今後上昇する要素がない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・取引先の製造業、建設業、運輸業で明確な業績回復の兆しがみられない。
	やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・取引先の流通業では明るい話題に乏しく、土木業や建設業でも受注状況が芳しくなく、受注しても赤字になる案件が増えるとみられている。
		職業安定所（職員）	・周囲の2つの企業で大規模な離職者が発生するとみられる。
	悪くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・これから観光シーズンが到来するが、昨年と比べて観光関連の求人動向が極端に落ち込んでいる。
	職業安定所（職員）	・事業主都合の離職者が増加傾向であり、雇用についてもパートが主体となっている。	